

# 第10回西脇市立学校学習環境規模適正化検討会議 会議録（ダイジェスト版）

令和4年4月15日（金）午後7時から、西脇市役所の大会議室において、「第10回西脇市立学校学習環境規模適正化検討会議」を開催しました。

会議では、第9回検討会議のテーマ「これまでの協議を踏まえた適正規模・配置（案）」についての意見を整理し、その後、「これまでの協議を踏まえた答申（案）」についての意見交換を行いました。

## ◇「これまでの協議を踏まえた答申（案）」についての 意見交換の概要



### 対象期間について

1

対象期間は15年間（令和5年度から令和19年度まで）とし、全ての西脇市立学校を対象とする。

### 小中学校数と児童生徒数の推移について

2

学校の数について、平成17年度の市町合併より中学校4校、小学校8校となり、以後変動はない。小学校に在籍する児童数について、平成18年度当初2,807人、令和4年度には1,856人となり、比較すると951人減少（約34%減少）している。  
令和元年から直近3年間に生まれた同学年の子どもの数は、市内全体で200人前後という状況

### 西脇市の学校教育の現状について

3

第3期西脇市教育振興基本計画「教育創造にしわきプラン」を策定しており、基本理念における重点項目は以下のとおり。

#### 重点目標

- 第1 社会の変化を前向きに受け止め、夢と志を持って可能性に挑戦する力を育成します。
- 第2 未来を見据え、地域社会の持続的な発展を実現するための多様な人材を育成します。
- 第3 生涯学び、人生を豊かに生きられる環境を整えます。
- 第4 自己の可能性の追求が、誰にも保障される学びのセーフティネットを構築します。
- 第5 教育施策推進のための基盤を整備し、教育成果を共有します。

### 「学びの質」を高める学習環境について

4

- ・小中一貫教育制度の研究・導入  
…小中一貫教育制度の導入に向けた研究、子どもの発達に即した学年区切りの研究の促進
  - ・就学前教育・高等教育との連携強化
  - ・今日的課題への対応  
…教科担任制の円滑な導入、GIGAスクール構想の推進、外国語・英語教育推進等
  - ・地域・家庭との連携・協働  
…地域・家庭との連携・協働体制強化（コミュニティースクールなど新たな連携・協働体制）  
…地域の教育資源の活用
- ～委員からの意見～
- ・GIGAスクール構想の推進など個々の内容が具体的にどうリンクするのか、後段の文章につながらない。
- ～事務局からの意見～
- ・次回までに答申案の修正を行う。

### 教職員の勤務の適正化推進について

5

小中教員の協働体制強化、小中一体となった学校運営・教育活動推進により、教職員の勤務の適正化を主体的に推進する。

## 学習環境規模適正化推進に係る基本的な考え方について

6

以下の5点が、推進に係る基本的な考え方になる。

- ア. 教育の主人公である子どもを中心に据え、子どもにとって望ましい学習環境の実現を図る。
- イ. 市内全ての地域を検討対象とする。既存施設の有効活用を図ることを原則とし、中学校区を単位として検討する。
- ウ. 全ての学年で、一定の学習・生活集団規模の確保を目指す。
- エ. 小中一貫教育をはじめとする新しい教育のしくみを検討する。
- オ. 保護者・地域住民の理解を得ながら推進する。

## 適正規模（学校規模）について

7

出生数の減少により、平成17年度と比べ小学校の小規模化が進んでいる。

例 小学校の小規模校（1学年1学級）3校→5校へ増加

…適正規模に関する提案より

◎方針 **ア 複式学級編制の回避・解消を図る。**

**イ 全学年に、一定規模の児童生徒数確保を目指す。（1学年2学級以上）**

～委員からの意見～

- ・方針について、初めて見ると表現が少し分かりにくい。基準とあたり方針とあたり定義がはっきりしない。表現の見直しをお願いしたい。
- ・小規模校の良さ、大規模校の良さなど検討会議で議論してきた内容になるので、その記載もお願いしたい。
- ・選択されなかった意見に対するフォロー案などの記載もお願いしたい。

～事務局からの意見～

- ・次回までに表現の統一、見直しを行う。

## 適正配置（通学距離・通学時間）について

8

◇方針A（中学校3校・小学校4校）案について

- ・中学校3校、小学校は現中学校区毎に1校配置する。
- ・答申の学校規模に係る方針の維持が困難と見込まれる3年前に検証委員会を設置
- ・学校配置の見直しを行う。（中学校の2拠点化、小学校の4拠点配置の見直し）

◇方針B（中学校2校・小学校4校）案について

- ・中学校2校、小学校は現中学校区毎に1校配置する。
- ・答申の学校規模に係る方針の維持が困難と見込まれる3年前に検証委員会を設置
- ・学校配置の見直しを行う。（小学校の4拠点配置の見直し）

～委員からの意見～

- ・小規模の校区で生まれたがために複式学級でしか学べない児童がいる状況にするのは、戦略的に外れてしまうため、何かしらの工夫を盛り込んでいただきたい。
- ・方針A案だと、再編後すぐに再検討しなければいけなくなってしまう。それは、保護者や子どもにも負担が大きいと思う。
- ・基本的に方針B案を支持するが、3中学校が一緒になるということは現状の学校の配置からすると難しく思う。新設するという考えはあるのか。
- ・方針B案は、かなり突っ込んだ選択になり、それで決定すると後戻りもできなくなる。方針A案から検証し、段階的な移行を行う方が良いのではないか。

～事務局としての対応～

- ・答申案をもう一度精査し、次回開催時提示する。

…その他、貴重な意見がたくさん出されました。

西脇市立学校学習環境規模適正化検討会議事務局  
(西脇市教育委員会 教育創造部 学校適正推進課)

西脇市下戸田128-1

☎0795-22-3111(代)

